年度末報告書（実行団体）

● 提　出　日　：2022 年　4 月　14 日
● 事　業　名　：新生児家庭を育む「新生児ファミリーミニステイ」実現のためのプラットフォームづくり
● 資金分配団体　：特定非営利活動法人まちぽっと
● 実 行 団 体　：認定特定非営利活動法人びーのびーの
● 新型コロナウイルス対応緊急支援助成（通常枠での追加助成）の有無　：　☑有　□無

① 実績値

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況＊
①1-1　多職種分野の人材でネットワークができる	医療職、研究職、母子保健分野、地域子育て支援分野、市民活動団体などの人材が集合する	20 名程度	2021 年 3 月	直近の定例会（2021 年 2 月）では、実行委員、オブザーバーなど合計で 52 名となった。関心を寄せてくれる参加者が増えている。	2
②1-2　多職種それぞれの専門分野からの知見が共有化され相互の学び合いが進む	ネットワーク参加者がプラットフォーム構築に向けたテーマを自ら提案しているかどうか	定例の勉強会の開催	2021 年 3 月～2023 年 3 月	2021 年度は通算 18 回の実行委員会（勉強会を実施）を実施した。各分野からの専門家を招き次年度の試行実施について検討している。	2

③2-1　国内外でも散見される先行事例がまとめられる	調査結果がコアメンバーで共有される	調査報告書の作成	2021 年 3 月	2020 年度は報告書を作成し、コアメンバーで報告書を共有した	2
④2-2　対象家庭及び支援関係者への量的・質的調査結果がまとめられる	調査結果がネットワークで共有される	調査報告書の作成	2022 年 3 月	2022 年 5 月の実行委員会で調査報告を実施予定	2
⑤2-3　3 年間の成果報告と今後の展望を語るフォーラムが実施される。	必要性を提言型で発表する場（フォーラム）であること。3 年の調査結果が報告書にまとめられること。	２００名	2023 年 2 月	コロナ禍でのフォーラム開催について検討中	2
⑥3-1　滞在型ファミリーミニスティの試行の実現	滞在型ファミリーミニステイの試行を、多職種ネットワークで実現し、フィージビリティスタディをモニター家庭の協力の元検証する。	10 家庭	2022 年 10 月～11 月	試行のファミリーミニステイについては、現在モニターの依頼や試行場所の検討を行っている。	2

⑦COVID-19 感染拡大の防止を図りつつ、会議やサロンが運営でき、ヘルパー派遣等で対象家庭が安定した妊娠期及び新生児期がすごせる。	オンラインの整備とその活用により、会議や見学が滞りなく実施できている。	感染が落ち着くまでの会議や見学及びサロン等を主にオンラインで実施する。一般のヘルパーを利用した家庭に事業を周知し、継続して活用されている。	2021 年 9 月	・見学はオンラインで対応。遠方の施設や事業者ともオンラインにて見学ができた。 ・2021 年 10 月～2022 年 3 月末現在、合計 21 回の「栄養講座」「園活セミナー」を実施し、のべ約 124 名の参加があった。 ・開始当初は新型コロナウイルス感染症に、利用者の不安も高かったが、利用数は徐々に上がり、2021 年 10 月～2022 年 3 月末現在、のべ 224 家庭に 419 活動を提供することができた。	2

＊進捗状況：1 計画より進んでいる 、2 計画どおり進んでいる 、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
2.概ね達成の見込み
2.アウトカムの状況
A：変更項目 ☑変更なし　☐短期アウトカムの内容　☐短期アウトカムの表現　☐短期アウトカムの指標　☐アウトカムの目標値

3. 活動に関する報告
2021 年度はコロナの影響を受けながらも、通常枠、コロナ緊急支援枠共にほぼ計画通り事業を進められた。 【通常枠】プラットフォームを構成する助産師や保健師、研究者などと継続的に勉強会を実施した（別紙参照）。現在集まっているメンバーの中から、3 名の研究者を詳細検討チームとし、2 年目の計画の一つである調査を行った。ヒアリングと陽的アンケートの組み立てについてはスタッフと詳細検討チームと検討を重ね実施した。また勉強会の中でも、参加メンバーとグループディスカッションを行い 3 年目の試行について検討した。これらの内容についてはＨＰで事業紹介として公開していく予定。 【緊急支援枠】新型コロナウイルス感染症への不安がある中でも、産前産後ヘルパーの派遣利用は増えていった（①実績値参照）。行政サービスの枠を超えてサポートが必要な利用者へは一定の支援ができた。オンラインサロン「園活セミナー」「栄養講座」はコロナ禍で外出が難しい親子のニーズに沿った内容で行った。「園活セミナー」は入園準備の時期に応じた内容で実施し、コロナ禍で港北区ほぼ全園の見学が中止されていても安心して幼稚園・保育園が選べる状況を提供した。
6. 新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点
産前産後の家庭に向けてオンラインの講座を実施。園選びから、保育所入園申請書の書き方、職場復帰などを連続して学べる講座を実施した。リアルに実施する離乳食講座が中止になる中で、キッチンをスタジオに見立てて、離乳食の作り方など子どもの月齢に沿った栄養講座を実施した。 オンラインで実行委員会を実施する場合も、レンタルスペースなどを利用して、密にならないよう工夫した。 産前産後ヘルパー派遣事業は、利用者宅での家事支援になるため、双方の感染のリスクも高くなる。訪問するヘルパーには、自身の体調管理、感染症対策グッズの持参、研修の実施などを行った。利用者からのワクチン接種をしているヘルパーの派遣希望に対しては、ヘルパーの同意の上応えるようにした。

② 広報に関する報告

1. シンボルマークの使用状況
☑自団体のウェブサイトで表示している　☑広報制作物に表示している ☐報告書に表示している　☑イベント実施時に表示している　☐その他 →「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）：

2.　広報
1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等） 法人発行の「幼稚園・認定こども園・保育園 びーのびーのガイド」に園活セミナーの広告を掲載。 2.広報制作物等 オンラインセミナーのチラシの作成 3.報告書等 なし 4.イベント開催等（シンポジウム、フォーラム等） なし

④規程類の整備に関する報告

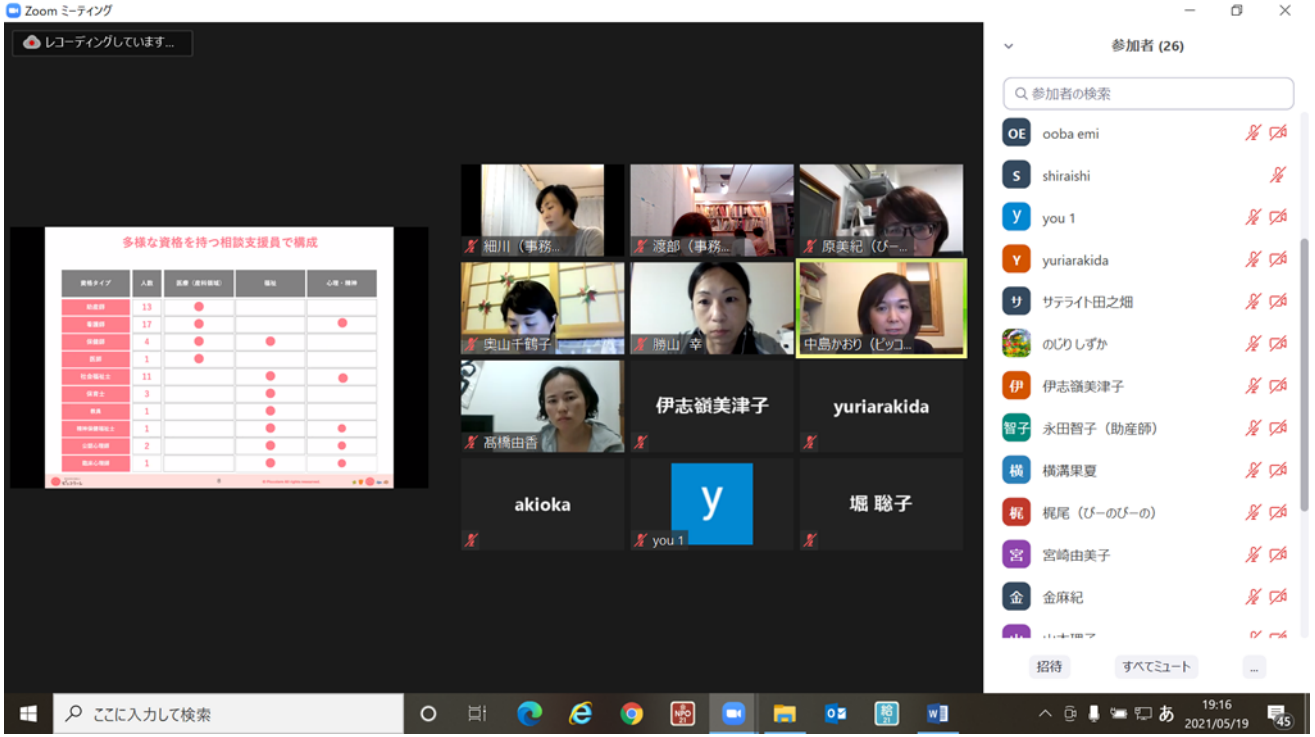
1.　事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
☐完了　　☑整備中
2.　整備が完了した規程類を web サイト上で広く一般公開していますか。
☐全て公開した　☐一部未公開　☐未公開 →「一部未公開」「未公開」を選択した場合の理由と公開予定日：
3.　変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。
☐はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：

⑤ガバナンス・コンプライアンスに関する報告

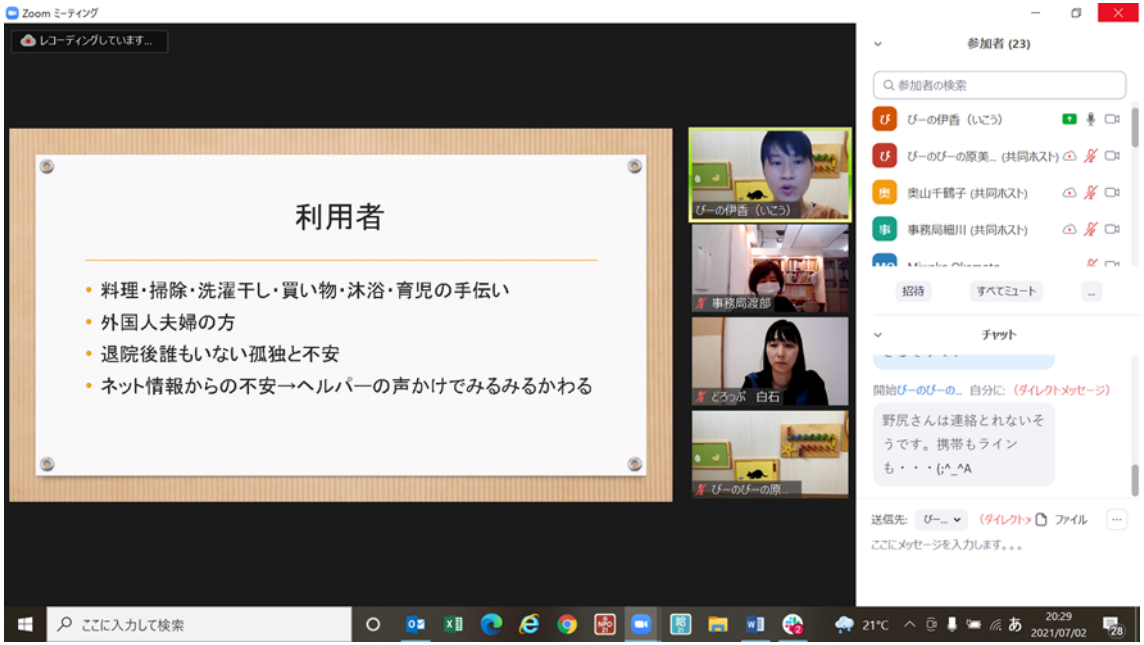
1.　社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
2.　内部通報制度は整備されていますか。
☑はい　　☐いいえ →「はい」の場合の設置方法（複数選択可）：☐内部に窓口を設置　　☐外部に窓口を設置　　☐ JANPIA の窓口を利用
3.　利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
4.　関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
5.　コンプライアンス委員会は定期的に開催されていますか。
☐はい　　☑いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由： コンプライアンス委員会は開催していないが、各事業で第三者委員等を交えコンプライアンスに関わる確認は実施しており、現状問題ある事案はない。
6.　報告年度の内部監査又は外部監査を実施予定ですか。（実施済みの場合含む）
☑内部監査を実施　　☐外部監査を実施　　☐実施する予定がない →「実施する予定がない」を選択した場合の理由：

添付資料

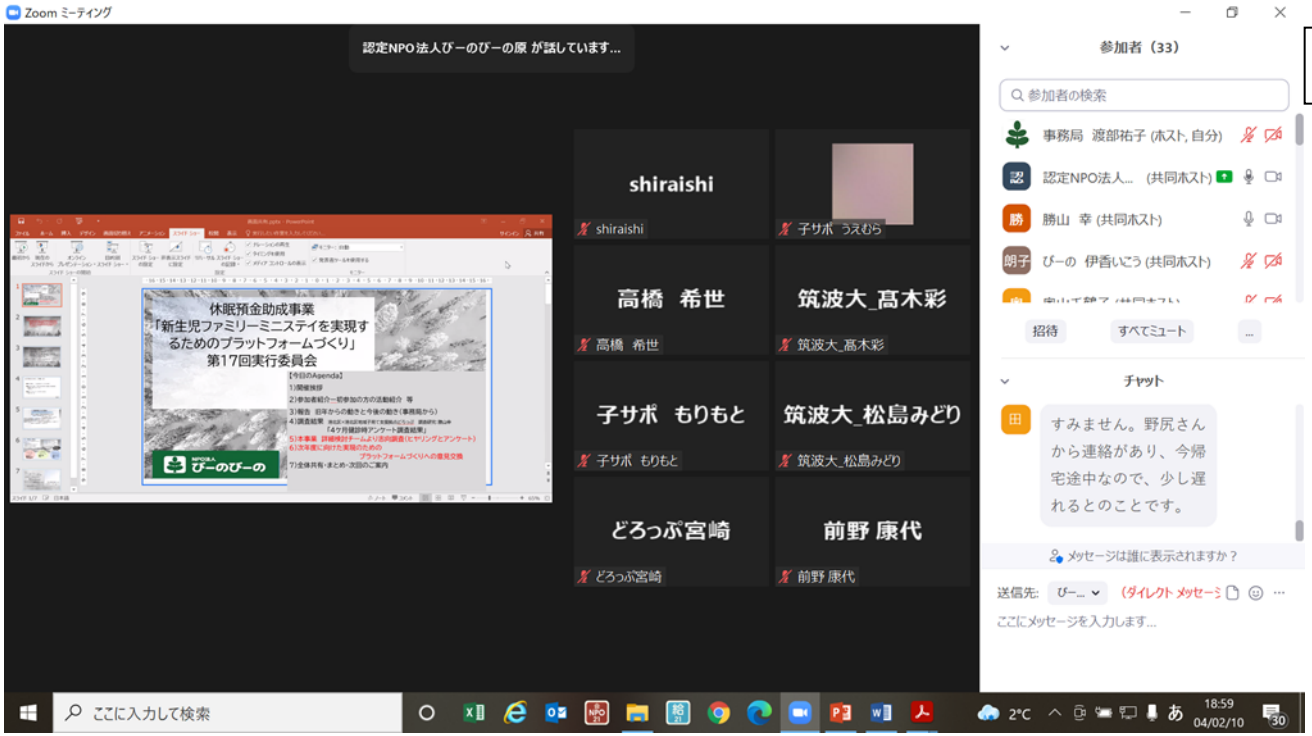
活動の写真（画像データは 1 枚 2 MG 以下、3～4 枚程度）



20210519　第 11 回実行委員会



20210702　第 12 回実行委員会



20220210　第 17 回実行委員会